

皮膚障害の予防に使うお薬について

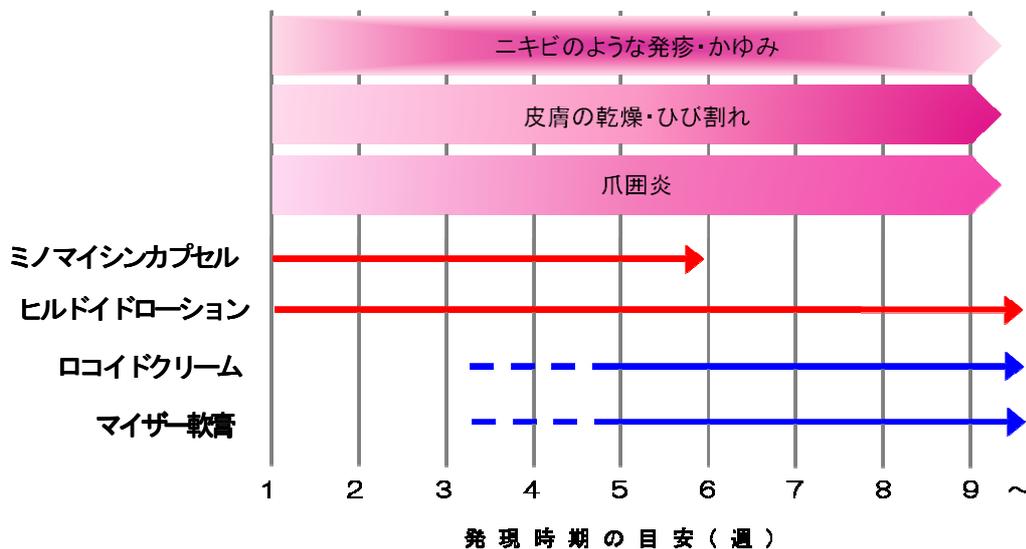
担当薬剤師

外科 ID: _____ 様

ベクティビックスやアービタックスといった薬を使用すると、ニキビのような発疹・皮膚の乾燥・爪囲炎などの症状があらわれることがあります。皮膚に生じる副作用(皮膚障害)を予防するため、症状が無いうちからお薬を使います。また自宅で症状が出始めた時に使う薬もあります。

【皮膚障害の発現時期の目安】

- ・投与日～投与1週間以降：皮膚が赤くなったり、皮疹が出はじめる
- ・投与3～5週間以降：皮膚が乾燥し始める、皮膚（指先やかかと）に亀裂が生じる
- ・投与4～8週間以降：爪の周りに炎症がおこる（爪囲炎）



●**予防**として、ミノマイシン（飲み薬）とヒルドイドローション（塗り薬）は**点滴当日**から使用してください。

◎ミノマイシンカプセル

- 1日2回 朝・夕 食後に1回1カプセルお飲み下さい。
- 皮膚の炎症を抑える目的で内服します。
- 点滴当日から内服を開始して下さい。
- 量を少なくして内服する方もいます。



◎ヒルドイドローション 又は ビーソフテンクリーム

- 1日2回 朝・夕 皮膚が乾燥したところに塗ってください。
- 皮膚の保湿を目的として使用します。
- 点滴当日から使用をはじめましょう。
- 乾燥している部分（顔・体など）に塗ってください。
- ビーソフテンクリームが処方される場合もあります。



- ロコイドクリームとマイザー軟膏は、症状が出はじめた時から使用を開始してください。

皮膚の炎症を抑えるぬり薬です。

皮膚が赤くなったり、皮疹が出始めたときから使いはじめます。

なるべく皮疹部のみに薄く塗るようにしてください。

お薬は皮疹が生じた部位によって塗り分けます

◎ロコイドクリーム …… 顔



1日2回 朝・夕 皮膚が赤くなったところなどにぬって下さい。



◎マイザー軟膏 …… 体



1日2回 朝・夕 皮膚が赤くなったところなどにぬって下さい。



★日常生活における注意点について

◎皮膚のケアをしましょう

- ・低刺激性で香料、保存料を含有しない石鹸を使用する(売店などに販売)
- ・シャワーはぬるめのお湯を使用し、入浴後にヒルドイドローションを乾燥部位に使用する

◎爪のケアを行きましょう

◎日焼けを避けましょう



副作用が現れたとき(いつもと違うと感じたとき)には我慢することなく、
医師・薬剤師・看護師にお知らせください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530



注意) 後発医薬品に変更した場合には薬の名前が変わりますのでご注意ください。

